

☆早春山行報告

(共益事業)

- ・実施日：令和2年3月28日(土)
- ・目的地：小斎峠から鹿狼山縦走
- ・コース：(7:30)鹿狼山登山口集合～(車で小斎峠まで移動)～(8:05)小斎峠登山開始～金華山(8:20)通過～音羽森(8:50着 9:00発)～主義山(9:25着 9:30発)～権現堂山(10:00着 10:10発)～地蔵森(11:10着 11:15発)～福田峠(11:50着【昼食】 12:20発)～五社壇(12:50着 13:00着)～鈴宇峠(13:20着 13:25発)～鹿狼山着(14:30着 14:40発)～鹿狼山登山口着(15:15) 解散
- ・参加者：千石信夫、冨塚和衛、冨塚眞味子、佐藤昭次郎、千葉正道、横山哲、草野洋一(以上会員)、村上敏郎、鳥田伊志、多田孝徳、佐藤富士子、山田孝司(以上支部友)、川島民子、工藤千鶴子、斎藤みい子、佐藤洋子、白幡典子、森宮子(以上一般者) 計18名
- ・報告者 千石信夫

平成31年度の最後の行事となった早春山行。一昨年に続き阿武隈山地を選定した。今回は山元町と丸森町との境界の小斎峠を起点として鹿狼山までの全長約10kmの行程を凡そ7時間を想定し計画した。

28日早朝7時30分に鹿狼山登山口(新地町)に集合。早朝から駐車場には一般の登山者が登り始めていた。天候は長期予報では雨予想であったが、運よく曇り程度で好調な滑り出しとなった。

参加者を確認し、本日の行程内容説明後、車を4台にまとめて小斎峠まで移動した。山元町側から峠を越え二股を左方向に走

行してすぐに左側に駐車スペースがある。その地点から18名で登山開始する。金華山までは急な登りを15分ほどで到着。途中1人体調不良により引き返し高橋二義車で収容となった。金華山を過ぎた頃から地蔵森の間は特に倒木が多く大木を跨いだり潜ったりと苦労の連続であった。台風や強風の傷跡が生々しい状況であった。主義山を過ぎ花嫁峠のあたりもルートが分かりにくい状態であった。権現堂山から地蔵森までのルートでは稜線沿いにルートを取り笹藪が刈り払いされている部分を辿り登山道から外れてそのまま地蔵森に到着した。



地蔵森からは若干西よりに登山道が続いておりそのまま福田峠まで下る。福田峠で高橋会員と合流し一緒に昼食とした。ここで2名がリタイアすることになり、15名で縦走継続する。ここからは登山道も倒木も少なくなって前半から比べれば歩きやすくなり順調に距離を稼ぐことができた。五社壇からは特に迷うようなところもなく途中からは林道に入り鈴宇峠まで下る。いよいよ最後の鹿狼山の蔵王眺望コースの登山口に到着小休止して七峰目(ななうねめ)の鹿狼山に向かう。ここからはさらに登山道は整備され歩きやすくなった

が、勾配もきついところもあり特に山頂直下のロープが設置してあるところは最後の登りで苦勞した。14:30鹿狼山に到着山頂からは眺めはよく西には蔵王の山々、北には遠く栗駒山が微かに真っ白く見え、我々を楽しませてくれた。いつ来てもここは眺めが良い所だ。記念写真撮影し樹海コースを下山する。



前半の部分ではあまり花を見かけなかったが、後半はフサザクラ、カタクリ、イチゲなどが奇麗に咲いており疲れを癒してくれた。15時15分登山口駐車場に無事七峰縦走終了した。

今回の山行では、ふたくちさんぽ会の皆さんが参加されいつになく大人数となり楽しく歩くことができた。

このルートは、2018年に三宅会員と二人で歩いているが、その時はあまり迷うようなところはなかったのだが、今回は今年の台風や今年に入ってから何度々の強風などの影響もあってか、かなりの倒木があり歩きにくく、そのうえルートが分かりにくくなっていた。そのような状況でも所要時間はあまり変わらず予定の時間に下山できた。

以上